



＜施設の概要＞
 所在地：大分県別府市青山町8-37
 延床面積：20,735.97㎡
 構造・規模：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造3階建て
 （メインアリーナ2,888㎡、サブアリーナ1,330㎡、周囲ランニングコース340m）
 施主：別府市
 設計：(株)安井建築設計事務所
 施工：きんでん・鬼塚・豊洋建設工事共同企業体
 竣工：平成15年7月

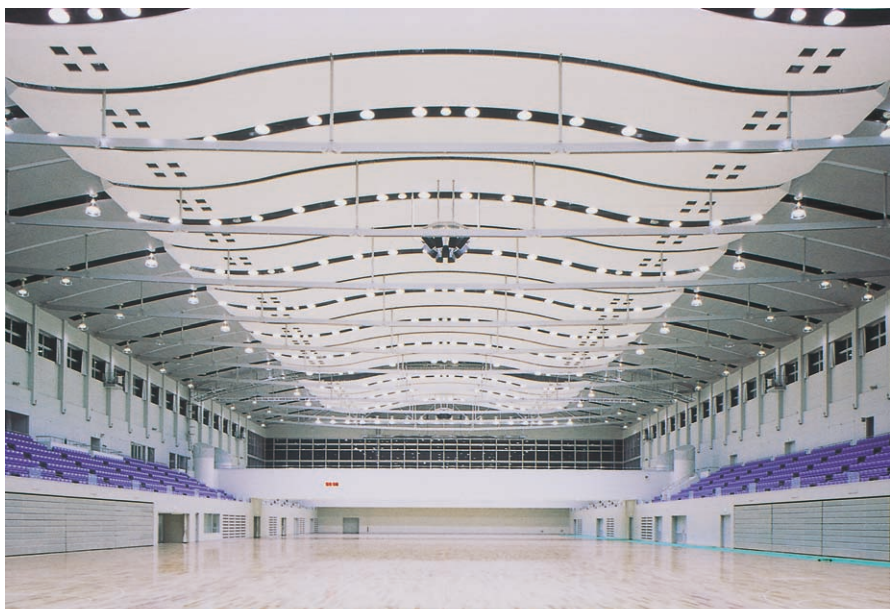
自動昇降装置付器具の規則配置で均斉度の高い視環境を実現。 照明制御により多様な点灯パターンを可能に

■2008年の国体会場に予定

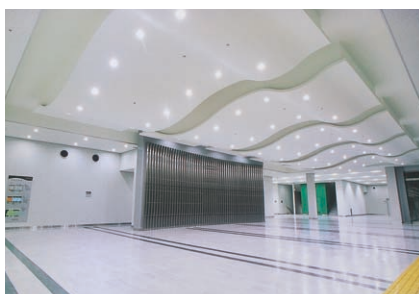
別府市総合体育館べっぴアリーナは、「夢と感動が限りなく広がる空間」をテーマに、大規模公式競技大会はもとより幅広い世代の市民が安心して利用できるスポーツ施設、並びに生涯スポーツの場としても継続的に利用できる快適空間を目指したほか、周辺地域との調和や自然光利用による省エネルギーにも配慮した新しいタイプの体育施設で、2008年の国体会場に予定されています。

アリーナはメインとサブが連続した壮大な空間で、「見えるアリーナ、見せるアリーナ」をコンセプトに、シンプルで軽快な低い大屋根が「周囲の緑の中に浮かぶ」イメージを実現しており、照明設備には1kW高効率メタルハライドランプを採用。自動昇降装置付の高天井用器具を波状の天井面に規則的に配置し、白色光による演色性のよい視環境を実現しながら、その特徴的な天井造形を引き立てています。また、利用者が快適に利用できるよう、中央部と周辺部の器具取付間隔を調整してアリーナ全体の均斉度を高く維持しながら、照明制御による明るさのレベルが異なる点灯パターンを可能とするシンプルかつ機能的な照明環境を実現しています。

エントランスホールは、32Wコンパクト形蛍光灯ダウンライトにより、アリーナ同様の波状の天井面を引き立て、躍動感と期待感を演出しています。また、エントランスにそびえ立つ、別府市伝統工芸の竹細工をモチーフにしたバンブータワーは、1kWメタルハライドランプ投光器によるライトアップで明るく浮かび上がらせることにより、シンボル性を強調し、人々を優しく迎え入れるゲートの効果をいっそう引き立てています。



アリーナ：メイン・サブ一体となった壮大なアリーナ全体を、シンプルかつ機能的な照明で利用者に快適な照明空間を創出している



エントランスホール：波状の天井面をダウンライトにより引き立て、躍動感と利用者に対する期待感を感じさせる照明空間を創出している



トレーニングルーム：埋込カバー付器具により、明るくかつグレアを抑えた快適な照明空間となっている



バンブータワー：別府市に伝わる伝統文化の竹細工をモチーフにした「バンブータワー」を、ライトアップすることでよりシンボリックなものとしている

■照明コンセプト

Lighting design concept

- 演色性のよい視環境の実現と建築意匠との調和
- アリーナ全体の均斉度維持と多様な点灯パターン

■主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
メインアリーナ・サブアリーナ	自動昇降装置付高天井用器具	SN-10042A	268	1kW高効率メタルハライドランプ
	自動昇降装置付高天井用器具	特注器具	92	42Wコンパクト形蛍光灯×4
エントランスホール	ダウンライト	FHD-31006-PS	60	32Wコンパクト形蛍光灯
バンブータワー	投光器	HT-10051M	6	1kWメタルハライドランプ